

## KHS-55BT

ワイヤレスヘッドセット

取扱説明書 (Webマニュアル編)



# 目次

各部の名称	3
充電する	4
接続する	6
ペアリングする	6
マルチペアリング	7
マルチペアリングについて	7
通話する	8
PTTの動作モードを切り替える	8
PTTの動作モードについて	8
切り替えかた	8
送信 / 受信する	10
PTTモードの場合	10
PTT ホールドモードの場合	10
ノイズキャンセル機能	11
再接続する	12
前回接続した相手機器と再度接続する (電源をオンにする)	12
接続を終了する (電源をオフにする)	13
その他	14
故障かな?と思ったら	14
お買い上げ時の状態に戻す	15
アクセサリーの装着	16
装着について	16
イヤピースの交換方法	17
インジケータの状態一覧	17
音声ガイダンスの一覧	18
仕様	19
通信仕様	19
ヘッドホン部	19
電源 / 一般	19
その他の情報	20
対応機種について	20
充電式電池のリサイクルについて	20
商標について	20
電波について	20
本機の防滴について	21
保証とアフターサービス	21
お客様の個人情報のお取り扱いについて	21

## 説明上の注釈表記について

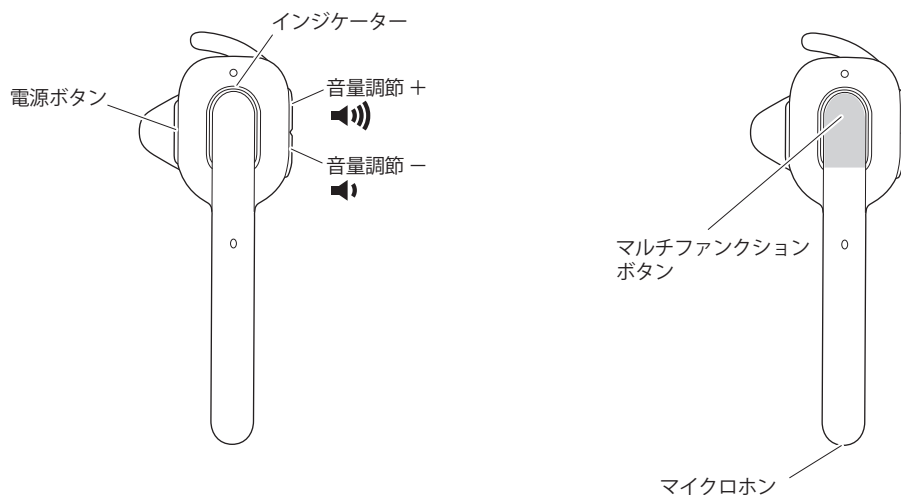




◆ このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



◆ このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

# 各部の名称

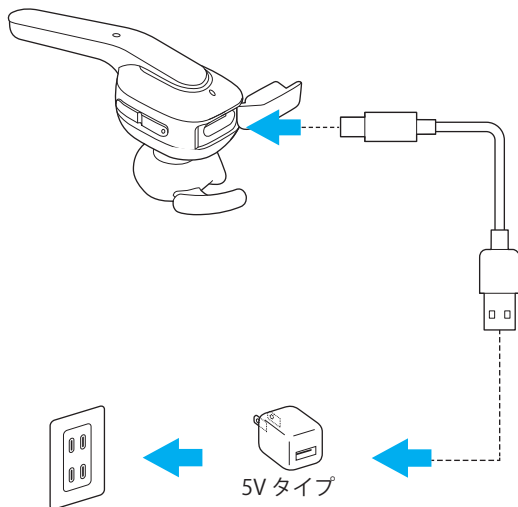


名称	説明
電源ボタン	電源のオン・オフをします。(p.12) (p.13) ノイズキャンセル機能をオンにします。(p.11)
インジケータ	点灯や点滅などで、接続時や電源のオン・オフなど本機の各種状態を表示します。(p.17)
音量調節 +  (半球状の凸形状がある側)	短く1回押すと、音量が大きくなります。
音量調節 -  (半球状の凸形状がない側)	短く1回押すと、音量が小さくなります。
マルチファンクションボタン	送信・受信においてPTTボタンとして機能します。(p.10) ペアリングなどで使用します。(p.6)

# 充電する

- ・故障や異常発熱の原因となりますので、USB 変換 AC アダプター (市販品) は必ず出力電圧が DC 5 V で、電流が 1 A 以上のものを使用してください。
- ・本機を充電するときは、必ず付属の充電用 USB ケーブルを使用してください。
- ・付属の充電用 USB ケーブルを使用して、USB 変換 AC アダプター (市販品) に接続してください。

- 1 付属の充電用 USB ケーブルを本機と、USB 変換 AC アダプター (市販品) に接続します。
- 2 USB 変換 AC アダプター (市販品) をコンセントに挿して、充電してください。

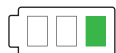
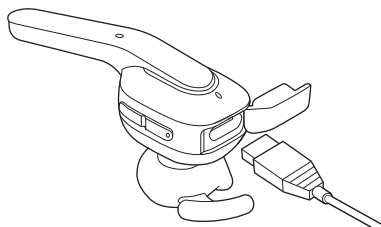


- ◆ 充電中は本機の操作はできません。
- ◆ 充電は充電温度範囲の環境でおこなってください。

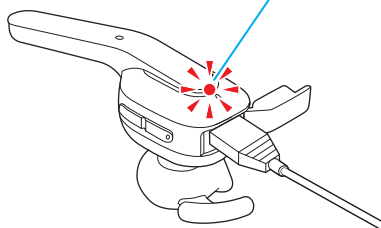
### 3 充電が完了したら、USBケーブルを抜いてください。

充電中はインジケータが点灯します。

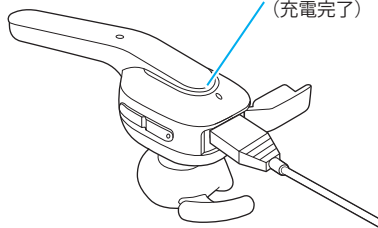
充電はバッテリーが空の状態約3時間かかります。充電が完了するとインジケータが消灯します。



インジケータ点灯



インジケータ消灯  
(充電完了)



◆イラスト上のバッテリーインジケータのイラストは、充電の状態を表示するイメージです。実際に本機で表示されるものではありません。

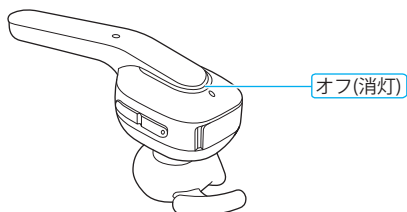
◆電源オンのあとに一定時間経過すると、音声ガイドで電池残量が案内されます。

# 接続する

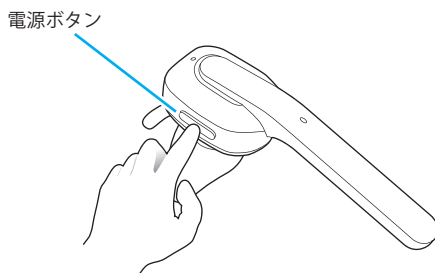
## ペアリングする

Bluetooth 機能を使うには、あらかじめ接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリング（機器登録）といいます。一度ペアリングをすれば、再びペアリングする必要はありません。

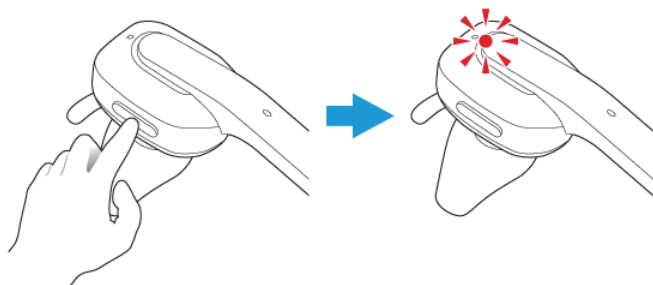
- 1 インジケーターが消灯していることを確認してください。



- 2 インジケーターが速く点滅を繰り返すまで、電源ボタンを押し続けてください。



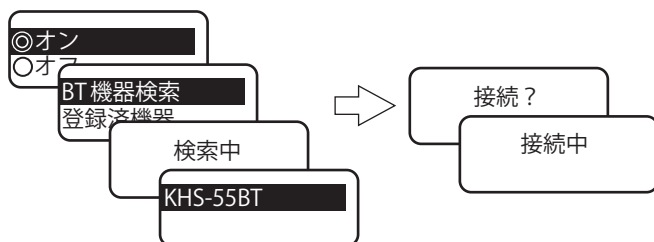
一度インジケーターが点灯しますが、そのまま押し続けてください。インジケーターが速く点滅を繰り返すのを確認してから、指を離してください。装着した状態では、音声ガイドが聞こえます。



- ◆ インジケーターが速く点滅していないときは「接続を終了する（電源をオフにする）」(p.13)を参照のうえ、いったん電源を切ってから再度電源ボタンを押し続けてください。
- ◆ インジケーターがゆっくり点滅したら、ペアリングは完了しています。新しい相手機器とペアリングしたいときは、いったん相手機器の Bluetooth 設定を「オフ」にしてください。

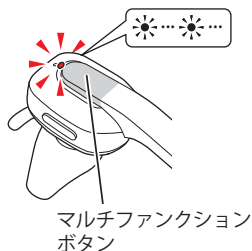
### 3 相手機器のBluetooth設定を「オン」にし、デバイスリストからKHS-55BTを選択します。

相手機器（無線機）の設定画面から Bluetooth 機能をオンにし、本機を選んでください。無線機の機種によって、表示や操作方法は異なります。接続する無線機の取扱説明書をご覧ください。



### 4 KHS-55BTのマルチファンクションボタンを押します。

KHS-55BT が “ピピピッ、ピピピッ” と鳴ったらマルチファンクションボタンを押してください。接続が完了し、インジケータがゆっくり点滅します。また、接続完了の音声ガイドが流れます。



◆約 5 分以内に相手機器と接続されないと、本機は自動的に電源がオフになります。

## マルチペアリング

### マルチペアリングについて

本機は最大 8 台の Bluetooth 対応機器をペアリング登録できます。

すでに 8 台登録されているときにペアリングをおこなうと、もっとも古い Bluetooth 対応機器の登録が解除され、新しい Bluetooth 対応機器を登録します。

# 通話する

## PTT の動作モードを切り替える

### PTTの動作モードについて

本機は通話の動作において「PTT モード」と「PTT ホールドモード」があり、お好みで切り替えることができます。

お買い上げ時のモードは「PTT モード」です。

#### PTT モード:

マルチファンクションボタンを押しているあいだのみ送信状態になります。離すと待受状態に戻ります。

#### PTT ホールドモード:

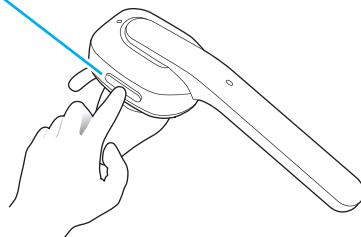
マルチファンクションボタンを押すと送信状態になり、送信状態が継続します。もう一度押すと待受状態に戻ります。

### 切り替えかた

#### 1 電源をオフにします。

電源ボタンを約3秒間押し続けます。インジケータが1秒間点灯してから消灯し、電源がオフになります。装着した状態では、音声ガイドで案内されます。

電源ボタン



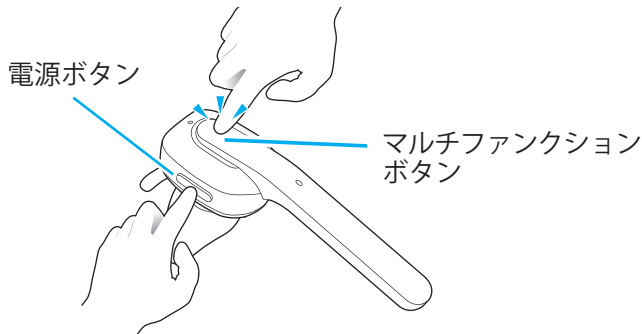


- 2** マルチファンクションボタンを押しながら電源ボタンを約3秒間押します。  
音声ガイドとインジケータの点灯により、選択中の動作モードをお知らせします。

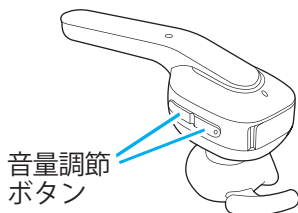
**インジケータの状態**

PTT モード：3 回点滅します。

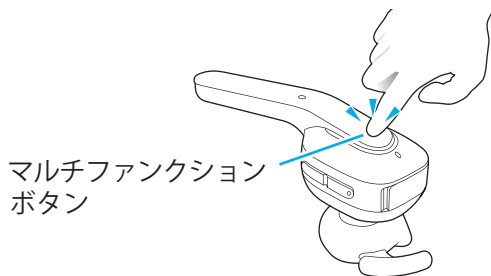
PTT ホールドモード：2 回点滅します。



- 3** 音量調節ボタンの(+ )または(-)を押します。  
押すたびに音声ガイドで案内され、PTT モードと PTT ホールドモードが切り替わります。



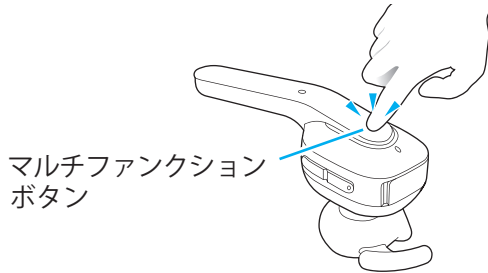
- 4** お好みのモードが案内されたらマルチファンクションボタンを押します。  
“ポーン”と鳴り、選んだモードになります。本機は自動でペアリングモードに移行します。



## 送信 / 受信する

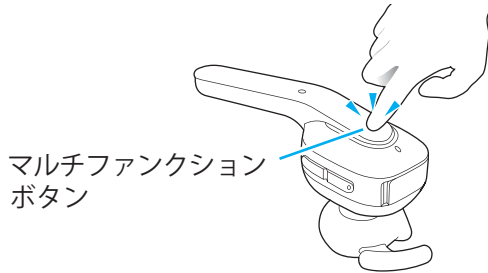
### PTTモードの場合

- **送信する:**マルチファンクションボタンを押したまま話します。  
送信状態になり、送信状態を示すビープが鳴ります。
- **受信する:**マルチファンクションボタンから指を離します。  
待受状態に戻ります。



### PTTホールドモードの場合

- **送信する:**マルチファンクションボタンを短く押してから話します。  
送信状態が継続され、送信状態を示すビープが鳴ります。
- **受信する:**マルチファンクションボタンをもう一度短く押します。  
待受状態に戻り、受信状態を示すビープが鳴ります。



◆ 通信中の予期しない切断を避けるため、本機を無線機本体から遠ざけないでご利用ください。



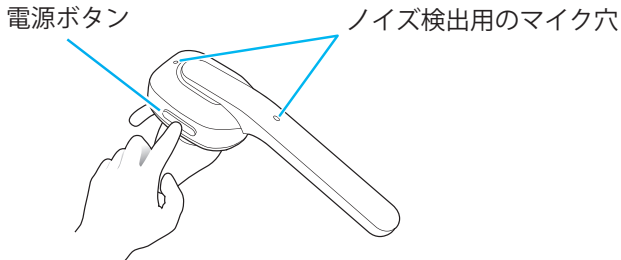
◆ 無線機との接続が切断し、再接続が発生した場合は、本機のマルチファンクションボタンを押して送信できることを確認してください。

## ノイズキャンセル機能

ノイズキャンセル機能を使うと、ご使用環境での騒音や屋内の空調音など周辺の雑音を低減することができます。ノイズキャンセル機能は、周辺の騒音や屋内の空調音など、低い音に効果がありますが、話し声やベルなどの比較的高い音に対しては効果が弱くなる場合があります。

- 電源が入っているときに、電源ボタンを短く1回押します。

もう一度電源ボタンを短く1回押すと、ノイズキャンセル機能はオフになります。装着した状態では、音声ガイドで案内されます。



◆ノイズキャンセルをオンにしているときは、ノイズ検出用のマイク穴に触れないようにしてください。

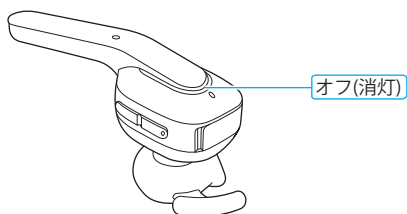


- ◆イヤープiecesの装着状態によっては、ノイズキャンセルの効果が弱く感じる場合があります。イヤープiecesは正しく装着してください。(p.17)
- ◆本機の起動時、ノイズキャンセル機能はオフで起動します。

# 再接続する

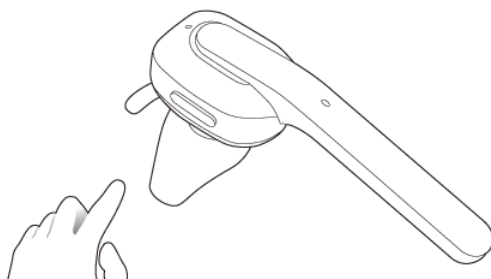
## 前回接続した相手機器と再度接続する（電源をオンにする）

- 1 インジケーターが消灯していることを確認してください。



- 2 相手機器の Bluetooth 設定をオンにした状態で、インジケーターが点灯するまで、本機の電源ボタンを押し続けてください。

インジケーターが点灯したら、指を離してください。電源オン時、装着した状態では、音声ガイドで案内されます。



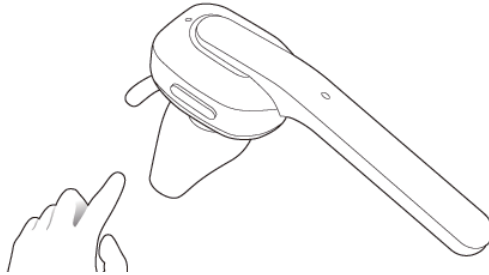
電源が入り、本機は自動的に前回使用した相手機器に再接続を試みます。接続できるとインジケーターがゆっくり点滅し続けます。



◆速く点滅し続けている場合は、本機と相手機器が接続できていません。このようなときは、相手機器で本機を選び接続してください。

## 接続を終了する（電源をオフにする）

- **電源ボタンを約3秒間押し続けてください。**  
インジケーターが1秒間点灯してから消灯し、電源がオフになります。電源オフ時、装着した状態では、音声ガイドで案内されます。  
インジケーターが完全に消灯すれば電源はオフになっています。



◆ 相手機器に接続していない状態が5分以上続くと、本機は自動的に電源がオフになります。

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	対処
接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機の電源を入れてください。</li> <li>・本機と相手機器を 1 m 以内に近づけて再度接続してください。</li> <li>・相手機器の Bluetooth 設定を「オン」にしてください。</li> <li>・相手機器の接続情報を削除し、再度接続してください。</li> <li>・相手機器の Bluetooth 設定を一度「オフ」にし、再度「オン」にしてから操作してください。</li> <li>・相手機器の電源を切り再度電源を入れてから操作してください。</li> <li>・接続のページをご参照ください。「接続する」(p.6)</li> <li>・他の相手機器に接続していないか確認してください。接続したい相手機器以外の Bluetooth 設定を「オフ」にしてください。</li> </ul>
相手機器を本機に接続後、すぐに動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手機器によっては、本機と接続してインジケータがゆっくり点滅しても、接続動作の時間差により、すぐに動作しない場合があります。数秒待ってから、再度操作してください。</li> </ul>
音量が小さい、または音質に違和感がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機の音量を上げてください。</li> <li>・本機を耳に正しく装着してください。</li> </ul>
ノイズキャンセルの効果が弱い、効果がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノイズキャンセル機能がオンになっていることを確認してください。「ノイズキャンセル機能」(p.11)</li> <li>・騒音の種類によっては効果が弱くなる場合があります。</li> <li>・イヤークラスを正しく装着してください。「イヤークラスの交換方法」(p.17)</li> <li>・イヤークラスのサイズを変更してください。「イヤークラスの交換方法」(p.17)</li> </ul>
音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手機器の位置をもっとも通信が安定する位置、向きでご使用ください。</li> <li>・相手機器の無線環境によって、通話音声途切れることがあります。</li> <li>・本機を充電してください。「充電する」(p.4)</li> </ul>
正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機を充電したあと、再度電源を入れてください。</li> </ul>
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機を充電してください。「充電する」(p.4)</li> </ul>
通話音声聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線機側で、通話可能な設定になっているか確認してください。</li> </ul>

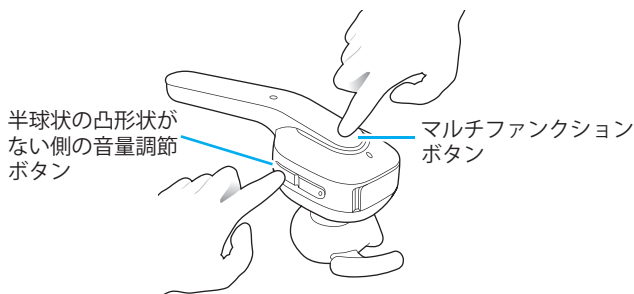
症状	対処
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ USB ケーブルを奥までしっかり挿入してください。</li> <li>・ 充電温度範囲内で充電してください。</li> <li>・ 充電が完了したあと、充電用 USB ケーブルを接続したままにしておくと、放電して充電量が減ることがあります。充電が完了したら、充電用 USB ケーブルを抜いてください。</li> </ul>

上記の操作をおこなっても正しく動作しない場合は、次の操作で改善することがあります。

## お買い上げ時の状態に戻す

- ・ PTT の動作モードは「PTT モード」に戻り、変更した音量はお買い上げ時の音量に戻ります。
- ・ ペ어링した機器情報はすべて削除（初期化）されます。最初からペ어링をやり直してください。
- ・ 最初に、相手機器の Bluetooth 設定から、本機の登録情報をいったん削除してください。

- 1 本機の電源を切ります。「接続を終了する(電源をオフにする)」(p.13)
- 2 本機の電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。  
インジケーターが速く点滅を繰り返します。
- 3 本機のマルチファンクションボタンと半球状の凸形状がない側の音量調節ボタンを約 6 秒間押し続けます。



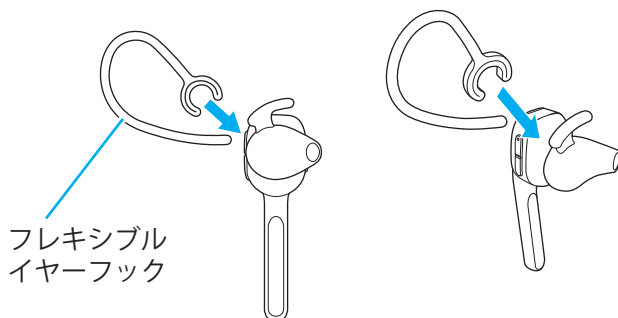
インジケーターがゆっくり 3 回点滅したあと、消灯して電源がオフになります。  
お買い上げ時の状態に戻ります。  
相手機器とペ어링操作をやり直してください。「ペ어링する」(p.6)

## アクセサリの装着

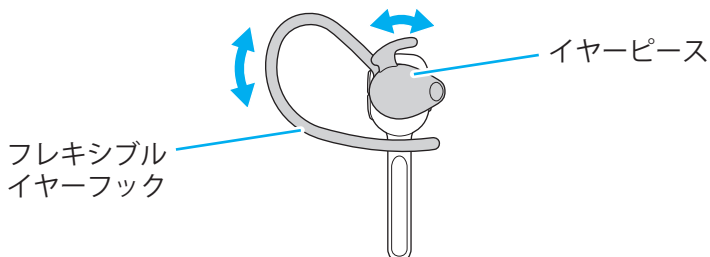
### 装着について

本機はお買い上げ時、左耳用のサポート付きイヤークラス M サイズが装着されています。  
ここでは、左耳に装着するときを例に説明します。

- 1 より安定した装着をしたいときは、本機にフレキシブルイヤークラスを取り付けてください。



- 2 フレキシブルイヤークラスとイヤークラスを調整してください。



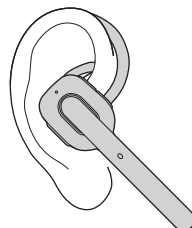
- 3 本機を装着する

右耳に装着するときには、右耳用のサポート付きイヤークラスを使用し、フレキシブルイヤークラスを逆向きに取り付けてください。

左耳用



右耳用

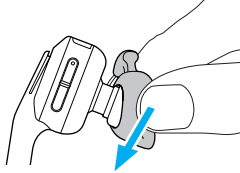




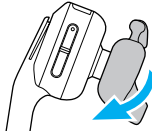
## イヤピースの交換方法

イヤピースが劣化したら、交換してください。

- 1 イヤピースの穴をイヤホン部に、斜め方向に入れます。



- 2 イヤピースの下部を下方方向に引っ張りながら、イヤホン部に押し込みます。



## インジケータの状態一覧

インジケータの状態	本機の状態
点灯	充電中 (USB 接続)
消灯	充電完了 (USB 接続)
速く点滅	ペアリング待ち
ゆっくり点滅	相手機器が正しく接続されているとき
充電中の点滅	充電温度保護機能により充電停止中
2 回点滅	PTT ホールドモードに設定されたとき
3 回点滅	PTT モードに設定されたとき

※接続する相手機器 (無線機) によっては、動作しないことがあります。

## 音声ガイドスの一覧

音声ガイドス	本機の状態
パワーオン	電源がオンになったとき
パワーオフ	電源がオフになったとき
ペアリング	ペアリングモードになったとき
ペアリングサクセスフル	ペアリングが成功したとき
コネクティッド	相手機器と接続したとき
ディスコネクティッド	相手機器との接続が切れたとき
ノイズキャンセリングオン	ノイズキャンセル機能がオンになったとき
ノイズキャンセリングオフ	ノイズキャンセル機能がオフになったとき
ピーティーティーモード	PTT モードを選択したとき
ピーティーティーホールドモード	PTT ホールドモードを選択したとき
チャージバッテリー	電池残量がほとんどなくなったとき
バッテリー フリーチャージドゥ	電池残量が 100 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー ナインティー パーセント レフト	電池残量が 90 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー エイティ パーセント レフト	電池残量が 80 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー セブンティー パーセント レフト	電池残量が 70 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー シックスティー パーセン トレフト	電池残量が 60 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー フィフティー パーセン トレフト	電池残量が 50 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー フォーティー パーセン トレフト	電池残量が 40 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー サーティー パーセン トレフト	電池残量が 30 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー トゥエンティー パーセン トレフト	電池残量が 20 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)
バッテリー テンパーセント レフト	電池残量が 10 % のとき (電源オンのあとに読み上げ)

## 仕様

### 通信仕様

通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver.5.0
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class 1
最大通信距離	約 10 m ※
対応 Bluetooth プロファイル	HSP

※機種によっては、動作しないことがあります。

### ヘッドホン部

型式	ダイナミック型
----	---------

### 電源/一般

電源	内蔵リチウムポリマー充電電池
電池持続時間	約 8 時間 (使用条件により異なります)
充電時間	約 3 時間
使用温度範囲	5 °C ~ 40 °C
充電温度範囲	5 °C ~ 40 °C
質量	約 10.3 g (内蔵リチウムポリマー充電電池含む)
付属品	<ul style="list-style-type: none"><li>・充電用 USB ケーブル：1 本</li><li>・イヤープース S/M：各 1 個</li><li>・サポート付きイヤープース S：左耳用 1 個 / 右耳用 1 個</li><li>・サポート付きイヤープース M：左耳用 1 個 / 右耳用 1 個</li><li>・フレキシブルイヤーフック：左耳用 / 右耳用共通 2 個</li></ul>

本機の仕様および外観は改善のため、予告なく変更することがあります。

## その他の情報

### 対応機種について

本機に対応する無線機については、弊社ウェブサイトをご覧くださいか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

<https://www.kenwood.com/jp/support/com/wireless-headset/#khs-55bt>



### 充電式電池のリサイクルについて



Li-ion 00

本機に内蔵されている充電電池はリサイクルできます。

充電電池の取り外しはお客様自身ではおこなわないでください。本機を廃棄するときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

### 商標について

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVCケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- USB Type-C® は USB Implementers Forum の商標です。

### 電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として工事設計認証を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項をおこなうと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機の認証表示 (㊿) を改変すること

2.4 FH 1

2.4 : 2.4 GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波与干渉距離は 10 m です。

— — — : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

本機の使用周波数帯 (2.4 GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- ・ 本機は無線を使用しているため、移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局など他の無線局から干渉を受ける場合があります。

万一、本機と「他の無線局」とのあいだに電波干渉が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止 (電波の発信を停止) してください。

そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

## 本機の防滴について

本機は、JIS C0920 (IEC60529) 規格の IPX4 相当の防滴処理が施されておりますが、完全防水ではありません。

- ※ IPX4 (水の飛まつに対する保護等級) とは、あらゆる方向からの飛まつに対して本機能を保護するものです。
- ・水の中に入れてないようにしてください。
- ・防滴性能を確保するため、USB 端子のカバーを完全に閉めてください。汗や水が内部に入ると故障の原因になります。
- ・水や汗が付着した場合は、すみやかに乾いたやわらかい布でふき取ってください。

## 保証とアフターサービス

- ・保証期間は、お買い上げの日より 1 か月間です。正常な使用状態において、製造上の不備に起因する故障が生じた場合は、お買い上げの日から 1 か月間は無償保証いたします。この場合は、領収書などお買い上げ年月日を証明できるものの提示が必要です。
- ・この商品は持込修理対象商品となります。対象商品を弊社へ送付した場合の送料はお客様のご負担とさせていただきます。
- ・本書は日本国内においてのみ有効です。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、株式会社 JVCケンウッドおよび株式会社 JVCケンウッドグループ関係会社 (以下、弊社) にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- ・お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- ・お客様の個人情報は、適切に管理し、弊社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- ・次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  1. 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。
    - ・当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的以外の使用をさせない措置をとります。
  2. 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- ・お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

### JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル



**0120-2727-87**

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル



**0570-010-114**

一部のIP電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は

**045-450-8950**

FAXを送信される場合は

**045-450-2308**

住所 〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付日 月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）

受付時間 月～金曜日 9：30～18：00

土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧ください。JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

URL <https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>